hinoko

Lettura in giapponese N5: 15 storie brevi con domande

Storie in giapponese scritte per il JLPT N5, con furigana, domande di comprensione, soluzioni e traduzioni.

1. Leggi ogni testo prima senza la traduzione. Ogni kanji ha i suoi furigana.
2. Rispondi alle domande, poi controlla le soluzioni alla fine del libretto.
3. Leggi la traduzione per ultima, per vedere che cosa hai capito.

Gratis: stampalo e condividilo. www.hinoko-japanese.com

Test di lettura nel formato del JLPT

TESTO 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TESTO 2

リーさんが 書いた さくぶんです。

わたしは 先月、日本に 来ました。いまは 大学の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日よう日でした。あさ、となりの へやの 山下さんと 川の そばを さんぽしました。川の 水は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下さんの へやで 食べました。山下さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後は 一人で 本やへ 行って、日本語の 本を 二さつ かいました。こんばんから 毎日 すこしずつ 読みます。

2. リーさんは きのうの 午後、何を しましたか。

1 一人で 本を かいに 行きました。

2 山下さんの へやで カレーを 食べました。

3 山下さんと さんぽしました。

4 日本語の 本を 二さつ 読みました。

3. 山下さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Storie

STORIA 1

小さな 友だち

Un piccolo amico

ひのこは 小さくて あおいです。 山の 上の 小さい いえに 一人で すんでいます。

ひのこは 本が 大すきです。 毎日、まどの そばで 本を 読みます。

でも、雨は きらいです。

今日は あさから 雨が ふっています。 外は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中で 本を 読んでいます。

「すみません……」

ドアの 外に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小さくて 白い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来ても いいですか」「はい、また 来て ください」

ひのこは 雨が きらいでした。 でも、今日の 雨は すこし すきです。

Domande

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

Che cosa non piaceva a Hinoko?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

Chi c'era fuori dalla porta?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

Che cosa ha fatto il gatto a casa di Hinoko?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

STORIA 2

コンビニの おにぎり

L'onigiri del konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。

となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」

けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。

つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Domande

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

Che cosa mangia Ken a colazione oggi?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Che cosa c'è nel sacchetto di Yamada-san?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

Chi è la vecchietta?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

STORIA 3

にちようびの 学校(がっこう)

Una domenica a scuola

けんは ベッドで とけいを 見(み)ました。 もう 八時(はちじ)でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前(まえ)で、電車(でんしゃ)の ドアが しまりました。 つぎの 電車(でんしゃ)で 学校(がっこう)へ 行(い)きました。

学校(がっこう)は とても しずかでした。 もんの 上(うえ)に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校(がっこう)は 休(やす)みですか」

けんは スマホを 見(み)ました。 今日(きょう)は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食(た)べました。 そして、十時(じゅうじ)に また ねました。

Domande

1. もんの 上(うえ)に 何(なに)が いましたか。

Che cosa c'era sul cancello?

1 くろい いぬ
2 くろい ねこ
3 白(しろ)い ねこ
4 白(しろ)い いぬ

2. けんは 学校(がっこう)へ どうやって 行(い)きましたか。

Come è andato a scuola Ken?

1 バスで
2 車(くるま)で
3 電車(でんしゃ)で
4 じてんしゃで

3. けんは 何時(なんじ)に また ねましたか。

A che ora è tornato a letto Ken?

1 八時(はちじ)
2 十時(じゅうじ)
3 十一時(じゅういちじ)
4 十二時(じゅうにじ)

STORIA 4

えきの でぐち

L'uscita della stazione

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Domande

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

A chi ha chiesto la strada Emma?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん

3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

Dov'era la madre del bambino?

1 北(きた)ぐち

2 南(みなみ)ぐち

3 東(ひがし)ぐち

4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

Dov'era Emma?

1 きょうとの 大(おお)きい えき

2 とうきょうの 小(ちい)さい えき

3 きょうとの 小(ちい)さい えき

4 とうきょうの 大(おお)きい えき

STORIA 5

お父さんの カレー

Il curry di papà

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Domande

1. だれが 水を たくさん のみますか。

Chi beve tanta acqua?

1 お父さんと そら
2 お父さんと お母さん
3 ゆいと そら
4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

Quanti anni ha Sora?

1 三さい
2 五さい
3 六さい
4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

La domenica dopo, che cosa dice Sora a papà?

1 「もっと からい カレーが いい」
2 「もっと あまい カレーが いい」
3 「もっと 大きい コップが いい」
4 「もっと つめたい 水が いい」

STORIA 6

ゆうめいな ラーメン

Un ramen famoso

休みの日、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行きました。

みせの 前には 人が たくさん ならんでいました。 二人も 一時間 ならびました。

でも、ドアの 前で、みせの 人が いいました。「すみません。今日は もう スープが ありません」

エマは となりの 小さくて ふるい みせを 見ました。「あの みせに 入りましょう」

小さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二はい 食べました。

つぎの 休みの日、二人は また 小さい みせへ 行きました。 でも、小さい みせの 前にも 人が たくさん ならんでいました。「また 一時間ですね」

Domande

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

Quante ore hanno fatto la fila davanti al ristorante famoso?

1 一時間(いちじかん)

2 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)

4 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

Dove hanno mangiato il ramen?

1 ゆうめいな みせで

2 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で

4 けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

Il giorno libero successivo, com'era la situazione davanti al piccolo ristorante?

1 人(ひと)が たくさん いました。

2 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。

4 みせが 休(やす)みでした。

STORIA 7

シロの はな

Il fiore di Shiro

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Domande

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

Che cosa posa Shiro davanti a Hinoko?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

Che cosa è pericoloso per Hinoko?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

Perché Shiro adora i fiori blu?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

STORIA 8

ねこの きって

Francobolli con i gatti

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Domande

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

Quando è arrivata la lettera della nonna?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

Quanti francobolli ha attaccato Yui sulla busta?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

Che francobolli c'erano sulla busta della nonna?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

STORIA 9

マリアの え

Il disegno di Maria

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Domande

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

Da dove viene Maria?

1 ベトナム
2 タイ
3 ブラジル
4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

Che cosa disegnava Maria sul quaderno?

1 ゆいの かお
2 先生(せんせい)の かお
3 じぶんの かお
4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

Nella pausa pranzo, chi faceva la fila davanti al banco di Maria?

1 ゆい 一人(ひとり)
2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)
3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)
4 クラスの みんな

STORIA 10

うみへ 行く バス

L'autobus per il mare

けんは はいしゃが きらいです。 今日は バスに のって、はいしゃへ 行きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外を 見ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母さんに メールします。

すぐに お母さんから メールが 来ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Domande

1. けんは バスの 中で 何を していますか。

Che cosa fa Ken sull'autobus?

1 おかしを 食べています

2 本を 読んでいます

3 ゲームを しています

4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

A chi manda un messaggio Ken?

1 お父さん

2 ゆい

3 お母さん

4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行きますか。

Quando va dal dentista Ken?

1 今日

2 あした

3 あさって

4 らいしゅう

STORIA 11

ポチは どこ？

Dov'è Pochi?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父(とう)さんと お母(かあ)さんも 来(き)て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行(い)っています。 お父(とう)さんは こうえんへ 行(い)って、そらは ベッドの 下(した)を 見(み)ています。 お母(かあ)さんが いいます。「そら、ポチは 大(おお)きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後(うし)ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来(き)て、みせの 前(まえ)で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Domande

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

Dove va papà?

1 スーパー
2 こうえん
3 学校(がっこう)
4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

Nel tardo pomeriggio, chi torna dalla spesa?

1 お父(とう)さん
2 お母(かあ)さん
3 ゆい
4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

Dove aspettava Pochi?

1 スーパーの 前(まえ)
2 こうえんの 前(まえ)
3 学校(がっこう)の 前(まえ)
4 えきの 前(まえ)

STORIA 12

えいがかんで

AI cinema

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは

となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは

はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい

えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Domande

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

Quando sono andati a vedere un film Ken ed Emma?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

Che cosa faceva Ken al cinema?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

Ken ha visto tutto il film?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

STORIA 13

ゆきの ねこ

Il gatto di neve

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには
あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは
あたたかいから」

Domande

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

Che cosa fa Shiro fuori?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Che cosa c'è nella neve bianca?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

Chi riscalda le zampe di Shiro?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

STORIA 14

おなじ かさ

Lo stesso ombrello

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。

エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。

エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。

みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」

それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Domande

1. エマは かさを どこに おきましたか。

Dove ha lasciato l'ombrello Emma?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

Che disegno c'era sull'ombrello che aveva preso Emma?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

La mattina dopo, chi aspettava davanti alla caffetteria?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

STORIA 15

みじかい えんぴつ

La matita corta

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Domande

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

Dove ha dimenticato le matite Ken?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

Che cosa c'è scritto sulla matita corta?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

Yui usa la matita nuova e lunga?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Soluzioni

Test di lettura nel formato del JLPT
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Storia 1 (Un piccolo amico)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

Storia 2 (L'onigiri del konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

Storia 3 (Una domenica a scuola)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

Storia 4 (L'uscita della stazione)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Storia 5 (Il curry di papà)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

Storia 6 (Un ramen famoso)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

Storia 7 (Il fiore di Shiro)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Storia 8 (Francobolli con i gatti)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

Storia 9 (Il disegno di Maria)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

Storia 10 (L'autobus per il mare)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

Storia 11 (Dov'è Pochi?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Storia 12 (Al cinema)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

Storia 13 (Il gatto di neve)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

Storia 14 (Lo stesso ombrello)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Storia 15 (La matita corta)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 storie dal N5 al N2, con audio, dizionario su ogni parola e ripasso, sul web e nell'app hinoko: www.hinoko-japanese.com

Traduzioni

Test di lettura nel formato del JLPT, Testo 1

Un biglietto di Maria per Yuko.

Cara Yuko,

la festa di domani comincia alle sei.

Ti aspetto davanti alla stazione alle cinque. Andiamoci insieme.

La torta la compro io. Tu compra da bere e portalo, per favore.

Maria

Test di lettura nel formato del JLPT, Testo 2

Un tema di Li.

Sono arrivato in Giappone il mese scorso. Ora abito in un appartamento vicino all'università.

Ieri era domenica. La mattina ho fatto una passeggiata lungo il fiume con Yamashita, il vicino di stanza. L'acqua del fiume era molto pulita.

Abbiamo pranzato nella stanza di Yamashita, che ha cucinato il curry. Era un po' piccante, ma buono.

Il pomeriggio sono andato da solo in libreria e ho comprato due libri in giapponese. Da stasera ne leggerò un po' ogni giorno.

Storia 1: Un piccolo amico

Hinoko è piccola e blu. Vive da sola in una piccola casa sulla montagna.

Hinoko adora i libri. Ogni giorno legge vicino alla finestra. Ma la pioggia non le piace.

Oggi piove dalla mattina. Fuori è buio e fa freddo. Hinoko sta leggendo un libro dentro casa.

«Mi scusi…»

C'è qualcuno fuori dalla porta. Hinoko apre la porta. È un piccolo gatto bianco. Il corpo del gatto è freddissimo.

Il gatto dice con una vocina: «Ho freddo…»

«Prego, entra.»

Vicino a Hinoko si sta al caldo. Il gatto lì dorme un po'. Poi il gatto beve un tè caldo.

«Grazie. Posso tornare?» «Sì, torna a trovarmi.»

A Hinoko non piaceva la pioggia. Ma la pioggia di oggi le piace un po'.

Storia 2: L'onigiri del konbini

Ogni mattina Ken compra un onigiri al konbini vicino alla stazione. Oggi è rimasto solo un onigiri.

Accanto a lui, anche una vecchietta guarda quell'onigiri. «Prego.» Ken dà l'onigiri alla vecchietta. «Grazie mille.» Oggi a colazione c'è il pane.

La mattina dopo, Yamada-san del konbini dà a Ken un piccolo sacchetto. «Questo è da parte di mia madre.» Nel sacchetto ci sono due grossi onigiri e una lettera. «Grazie per ieri.»

Storia 3: Una domenica a scuola

Nel letto, Ken ha guardato la sveglia. Erano già le otto!

Ken è corso alla stazione. Ma le porte del treno si sono chiuse proprio davanti ai suoi occhi. È andato a scuola con il treno successivo.

La scuola era molto tranquilla. Sul cancello c'era un gatto nero. «Signor gatto, oggi non c'è scuola?»

Ken ha guardato il telefono. Era domenica!

A casa, Ken ha fatto una colazione abbondante. Poi, alle dieci, è tornato a letto.

Storia 4: L'uscita della stazione

Emma era in una grande stazione di Tokyo. C'erano tante uscite. Ma l'uscita nord non la trovava.

Accanto a lei c'era un bambino piccolo. «Scusa, dov'è l'uscita nord?» Il bambino ha detto con una vocina: «Non lo so… La mia mamma è all'uscita nord.» «Allora andiamo insieme.»

L'uscita est, l'uscita ovest, l'uscita sud… E all'uscita nord c'era la sua mamma.

Il bambino ha detto a voce alta: «Signorina, l'uscita nord è qui!»

Storia 5: Il curry di papà

Domenica sera, papà è in cucina. Prepara il curry per la prima volta.

«Buon appetito!» Il curry di papà è molto piccante. La mamma e Yui bevono tanta acqua.

Sora, il fratellino di Yui, ha solo sei anni. Ma mangia tutto il suo curry. «È buonissimo! Ancora curry, per favore!»

La domenica dopo, Sora dice a papà: «Rifai il curry, per favore. Lo voglio ancora più piccante!» La mamma e Yui riempiono d'acqua dei bicchieri grandi.

Storia 6: Un ramen famoso

In un giorno libero, Emma e Ken sono andati in un famoso ristorante di ramen. Davanti al ristorante c'era tanta gente in fila. Anche loro hanno fatto la fila, per un'ora.

Ma alla porta, qualcuno del ristorante ha detto: «Mi dispiace. Oggi il brodo è finito.»

Emma ha guardato il vecchio ristorantino lì accanto. «Andiamo in quel ristorante.»

Nel piccolo ristorante non c'erano clienti. «Buonissimo!» Ken ne ha mangiate due ciotole.

Il giorno libero successivo, i due sono tornati al piccolo ristorante. Ma anche davanti al piccolo ristorante c'era tanta gente in fila. «Un'altra ora, eh…»

Storia 7: Il fiore di Shiro

Shiro, il gatto bianco, viene a casa di Hinoko tutti i giorni. Oggi Shiro ha un fiore in bocca. È un piccolo fiore blu.

Shiro posa il fiore davanti a Hinoko. «Tieni.»

«Oh, che bello! Grazie, Shiro. Mettiamolo nell'acqua.»

Ma l'acqua è pericolosa per Hinoko. È Shiro a mettere l'acqua in un bicchiere. Poi mette il fiore nel bicchiere.

«Shiro, ti piacciono i fiori blu?» «Sì, li adoro. Sono del tuo stesso colore.»

Storia 8: Francobolli con i gatti

Yui ha scritto una lettera a sua nonna, che abita lontano, a Hiroshima. Poi è andata alla posta a spedire la lettera. Alla posta c'erano francobolli con i gatti e francobolli con i cani. Yui ha comprato dieci francobolli con i gatti e li ha attaccati tutti sulla busta.

L'impiegato della posta ha guardato la busta e ha detto: «Quanti gatti!» «Sì. È che mia nonna adora i gatti.»

Dieci giorni dopo è arrivata una lettera dalla nonna di Hiroshima. Sulla busta c'erano dieci francobolli con i cani. Yui adora i cani. La nonna lo sa bene.

Storia 9: Il disegno di Maria

Nella classe di Yui è arrivata una nuova studentessa. «Mi chiamo Maria. Vengo dal Brasile. Piacere di conoscervi.»

Maria era tranquilla e parlava poco. E a pranzo mangiava sempre da sola.

Durante la lezione d'inglese, Maria disegnava sul quaderno. Il professore si è fermato davanti al banco di Maria. Sul quaderno c'era un disegno del viso del professore. Tutta la classe guardava il professore.

«Questo sono io?» «Sì… Mi scusi.» Il professore ha guardato bene il disegno e ha detto: «Disegni benissimo! Perché non disegni anche i visi di tutta la classe?»

Quel giorno, nella pausa pranzo, tutti facevano la fila davanti al banco di Maria. Il pranzo di Maria è stato molto animato.

Storia 10: L'autobus per il mare

A Ken non piace il dentista. Oggi prende l'autobus per andare dal dentista. Ma non è l'autobus giusto. Ken gioca a un videogioco sul telefono.

«Prossima fermata: capolinea.» Ken guarda fuori dal finestrino. «…Il mare?»

Ken scende dall'autobus e si ferma davanti al mare. Il mare è blu e bellissimo. Anche il vento è fresco e piacevole. Ken fa una foto e la manda a sua madre.

Subito arriva un messaggio di sua madre. «E il dentista?» «…Ci vado domani.»

Storia 11: Dov'è Pochi?

«Pochi! Pochi!» In giardino, Yui chiama il cane Pochi. Ma Pochi non c'è.

Arrivano anche papà e la mamma, e lo cercano tutti insieme. La nonna, che vive con loro, è andata a fare la spesa. Papà va al parco, e Sora guarda sotto il letto. La mamma dice: «Sora, Pochi è grande, quindi lì sotto non c'è.» Sora piange.

Nel tardo pomeriggio, la nonna torna dalla spesa. «Sono tornata!» Dietro la nonna c'è Pochi! «Pochi è venuto con me fino al supermercato e mi aspettava davanti al negozio.»

Quella sera, Sora dorme accanto a Pochi.

Storia 12: Al cinema

Domenica, Ken ed Emma sono andati a vedere un film. Al cinema, Ken ha comprato due biglietti per un film che fa paura. «Ken, ti vanno bene i film che fanno paura?» «Nessun problema. Li adoro!»

Dentro il cinema era buio e c'era silenzio. In una scena che faceva paura, Emma ha guardato Ken, accanto a lei. Ken aveva gli occhi chiusi. «Ken, apri gli occhi.» «Ma sono aperti!» Ma dall'inizio alla fine Ken non ha aperto gli occhi.

Dopo il film, Ken ha detto a voce alta: «Era un bel film, eh!» «Sì. Ken, quale parte ti è piaciuta?» «…Torniamo a vederlo la settimana prossima?»

Storia 13: Il gatto di neve

Oggi nevica dalla mattina. La neve è pericolosa per Hinoko, così lei non esce.

Shiro gioca fuori. Hinoko guarda fuori dalla finestra. «Shiro, dove sei?»

Nella neve bianca ci sono due occhi. Sono gli occhi di Shiro.

Davanti alla finestra, Shiro fa un piccolo gatto di neve e lo mostra a Hinoko. «Che carino! È uguale a te!»

Poi Shiro entra in casa. Le zampe di Shiro sono freddissime. Hinoko gliele riscalda.

«Facciamo entrare anche il gatto di neve? Fuori fa freddo.» «No! Qui fa caldo.»

Storia 14: Lo stesso ombrello

Pioveva dalla mattina. Emma ha comprato un ombrello in un konbini ed è andata in una caffetteria. Prima di entrare, ha lasciato l'ombrello all'ingresso. Dentro ha bevuto un caffè e ha letto un libro.

Al momento di uscire, all'ingresso c'erano tanti ombrelli uguali. Emma ha preso un ombrello che era lì vicino. Una volta tornata a casa, Emma ha guardato bene l'ombrello. Sull'ombrello c'era disegnato un piccolo gatto. Non era l'ombrello di Emma.

La mattina dopo, Emma è andata alla caffetteria con quell'ombrello. Davanti alla caffetteria aspettava una liceale. «Quello è il mio ombrello! E questo è suo?» «Sì… credo di sì.» «Gli ombrelli del konbini sono tutti uguali, quindi è meglio se hanno un disegno.»

Poi le due sono diventate amiche. Ora anche sull'ombrello di Emma c'è un piccolo gatto disegnato dalla sua amica.

Storia 15: La matita corta

Oggi c'è la verifica d'inglese. Prima della verifica, Ken apre la cartella. Le matite non ci sono! «Ho dimenticato le matite a casa…»

Yui, la sua vicina di banco, presta a Ken una matita cortissima. «La prossima volta faresti meglio a non dimenticarle.»

Durante la verifica, Ken guarda la matita. Sulla matita ci sono delle parole. «Forza!» Ken riprende coraggio.

Dopo la verifica, Ken restituisce la matita a Yui. E la mattina dopo le dà anche una matita nuova e lunga. Anche sulla matita lunga ci sono delle parole di Ken. «Grazie. La prossima volta non le dimentico.»

Yui non ha ancora usato quella matita. Ancora oggi, quella matita è lunga.